



Tech3 E-racing 大久保光

2023・9. 9-10 サンマリノ GP ミサノ・ワールド・サーキット・マルコ・シモンチェリ
予選 15 番手・レース1 決勝-9 位。レース2 決勝-12 位。最終ランキング 13 位



Tech3 E-Racing から、MotoE 参戦の大久保光は、連戦となるサンマリノ GP ミサノ・ワールド・サーキット・マルコ・シモンチェリへと挑みました。MotoE 最終戦となり、大久保は、今季の集大成となるように、最高リザルトを求めて走行を開始します。フリー走行1本目は快調な滑り出しとなりますが、フリー走行2本目に転倒してしまい、Q2 進出出来ず、Q1 結果で 15 番手からのスタートとなってしまいました。それでも、トップとの差は大きくなく、決勝への追い上げに期待がかかります。

レース1決勝は、予選順位から大きくポジションを上げて9位でチェッカーを受けますが、レース2決勝に向けてマシンの変更などが出来ず12位となってしまいます。最終ランキングは13位と、狙っていたポジションとは、かけ離れた結果となりました。

今季は、新チームに所属し、新たな環境で走り出しました。ドゥカティという、馴染みのないマシンと向き合い、大久保なりに懸命に挑んだ結果ではありますが、去年は表彰台に登ることも出来、トップ争いをしてきた本人としては納得できるものではなく、来季への奮起を誓うことになりました。



大久保光

「今大会は来季に向けてのタイヤテストがあり木曜日から走行があり、公式スケジュールは金曜日からは始まりました。なんとしてもQ2に出て、良いグリッドを得たいと思っていました。調子も悪くなくタイムを刻めていたんですが、FP2でフロントの接地感がなく転倒してしまい、タイムを伸ばし切れずに、Q1結果で15番手からのスタートになってしまいました。転倒の影響もありリズムが崩れてしまったこと、マシンの不具合もありました。それでもレース1は9番手で終わることが出来たんですが、レース2決勝は問題を解決することが出来ずに12位となってしまいました。

今季の最初からチーフメカニックとのコミュニケーションがとれず、思うようにレースが出来ずにいました。最終戦なので、どうしても結果を残したいのはチーフメカニックも同じだったとは思いますが、意見がぶつかり、マシンのセットアップを直してもらえないままになっていました。マシンを調整することなくレース2決勝を走ることになってしまったことは痛手でした。

自分が我慢すればよいとシーズンを過ごしていたことが最悪の状況を生んでしまったのだと反省しています。転倒が多いシーズンになってしまいましたが、ケガもなくシーズンを終えることが出来たのは良かったことではないかと思っています。支援、応援して頂いた方々には申し訳ない気持ちですが、今年の実験を生かして、来季には、良い結果を報告したいと思っています」



唯一の日本人ライダーとして MotoE 参戦を開始し、新たな道を開拓した誇りも、自覚もあり、継続参戦を願ってはいますが、まだ、来季については、発表する段階ではありませんが、来季も自身の力を示せる場所で、しっかりとレースと向き合います。

今週にはポルドール 24 時間耐久があり、グリーンライダーではありますが、「F.C.C. TSR Honda France」に貢献できるようと考えています。

今季も変らぬ声援をありがとうございました。

大久保光